

アスファルト用水系塗料 バイデロン 塗装仕様書

I. 塗料内容

- ・下塗 A液 9kg
- ・下塗 B液 3kg
- ・上塗 A液 10kg
- ・上塗 B液 1kg

下塗2セット、上塗1セットでローラー塗装にて 30㎡塗装可能
写真1参照



写真1(写真はイメージです)

II. 必要な道具

《清掃用具》

- ・ホウキや塵取り(または掃除機)
- ・ウエス

《養生道具》

- ・養生テープ
- ・養生マスキング
- ・チョーク、ロウ石、墨打ちなど

《塗装道具》

- ・中毛ローラー(下塗用・上塗用)
- ・ローラーの柄
- ・補助柄
- ・水(下塗希釈用)
- ・電動ドリル
- ・攪拌羽(塗料攪拌用)
- ・ヘラや攪拌棒

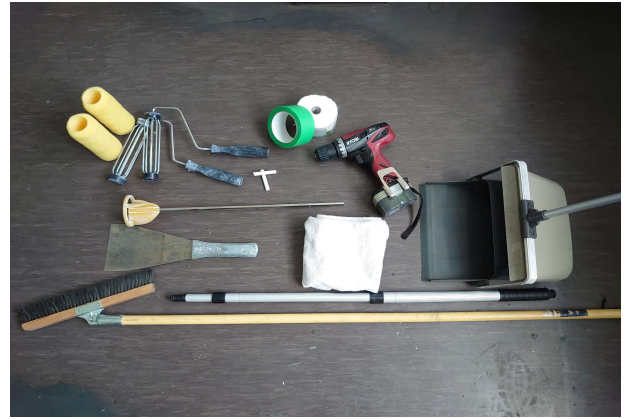


写真2

写真2参照

III. 塗装仕様

1. 清掃

- ・アスファルト上にある砂、泥、埃などを、ホウキやちり取り、掃除機などを用いて取り去ってください。
- ・硬く絞った水濡れウエスなどで拭き取るとより効果的です。

2. 養生

- ・養生テープや養生マスキングなどで周辺養生を行います。

3. 下塗準備

- ・1セットで塗装する面積を決め、チョークなどでマーキングしておきます。
- ・中毛ローラー、ローラーの柄、補助柄を用意します。
- ・下塗A液の容器の中に下塗B液および水道水600gを投入します。
- ・電動ドリルと攪拌羽を用いて1～2分程度攪拌します。



写真3

写真3参照

- ・15㎡に満たない面積を塗装する場合は、一度下塗A液をハンドディスペーで攪拌後、下記の量を参考に小取りして混ぜ合わせてください。

* 目安: 塗装自体は1人/1時間で約30㎡の塗装はできます。

	2㎡	5㎡	10㎡	15㎡
下塗A液	1.20kg	3.00kg	6.00kg	9.00kg
下塗B液	0.40kg	1.00kg	2.00kg	3.00kg
合計	1.60kg	4.00kg	8.00kg	12.00kg

* 水希釈は5%して下さい。

* 可使時間: 春～秋2時間・冬場は3時間

4. 下塗塗装

- ・塗料を塗装したいアスファルト面に撒きながら、用意した中毛ローラーで伸ばす様に均していきます。(少し体重をかけて押し込むように塗ると綺麗に塗装できます。)

写真4及び5参照

- ・塗料中に含まれる砂が分離しないように、時々用意したヘラや攪拌棒などで混ぜるようにします。

写真6参照



写真4

写真5

写真6

5. 乾燥時間

- ・下塗を塗り終わりましたら、人が乗っても塗膜が靴に付いてこなくなるまで乾燥させてください。

乾燥時間の目安

夏 1時間程度

春秋 1～2時間程度

冬 2～3時間程度

※ 乾燥時間は、気温・湿度・風の有無・日射によって大きく影響されます。

- ・下塗を塗装してから上塗を塗装するまでは、最長でも7日以内に塗装してください。

6. 上塗準備

- ・1セットで塗装する面積を決め、チョークなどでマーキングしておきます。
- ・中毛ローラー、ローラーの柄、補助柄を用意します。
- ・B液を入れハンドディスペーを用いて1～2分程度攪拌します。
* はじめは混ざりにくいですが、異常ではありません。
- ・30㎡に満たない面積を塗装する場合は、一度上塗A液をハンドディスペーで攪拌後、下記の量を参考に小取りして混ぜ合わせてください。
* 目安: 塗装自体は1人/1時間で約30㎡の塗装はできます。



	2㎡	5㎡	10㎡	15㎡	30㎡
上塗A液	0.67kg	1.67kg	3.33kg	5.00kg	10.00kg
上塗B液	0.07kg	0.17kg	0.33kg	0.50kg	1.00kg
合計	0.74kg	1.84kg	3.66kg	5.50kg	11.00kg

* 可使時間: 春～秋3時間・冬場は4時間

7. 上塗塗装

- ・塗料を塗装したいアスファルト面に撒きながら、用意した中毛ローラーで伸ばす様に均していきます。
(基本的には軽く転がすように塗装します。くぼみがある場所には塗料の溜まりを作ってこれを伸ばすように塗ると綺麗に塗装できます。)

写真7及び8参照

- ・塗料が分離しないように、時々用意したヘラや攪拌棒などで混ぜるようにします。



写真7



写真8

8. 乾燥時間(通行可能時間)

- ・上塗を塗り終わりましたら、人が乗っても塗膜が靴に付いてこなくなるまで乾燥させてください。

乾燥時間の目安

夏	1時間程度
春秋	1～2時間程度
冬	2～3時間程度

↓

歩いても塗料が付かなくなれば交通開放可能。

※ 乾燥時間は、気温・湿度・風の有無・日射によって大きく影響されます。

※ 塗装後7日程度までは塗膜がまだ柔らかい為、強い負荷が掛かると剥がれが生じることがあります。

⇒ 剥がれた際は「IV. もしも補修が必要となったとき

2) 塗装後に塗膜が剥がれるなどした場合」を参照ください。

9. 養生はがし・片付け

- ・使用した養生テープ・養生マスキングを綺麗にはがし、地方自治体の指示に従って処分してください。
- ・空き容器は地方自治体の指示に従って処分してください。
- ・器具の洗浄はラッカーシンナーで洗浄可能です。
使用済みのラッカーシンナーは、地方自治体の指示に従って処分してください。
特にラッカーシンナーは引火性液体ですので、火の元には十分に注意して使用してください。

10. ライン塗装をする場合

- ・ライン塗装をする場合は、養生テープなどで塗りたい場所の外側を養生し、上塗塗装したさらに上に上記6～8の工程を繰り返すことでラインを引くことができます。

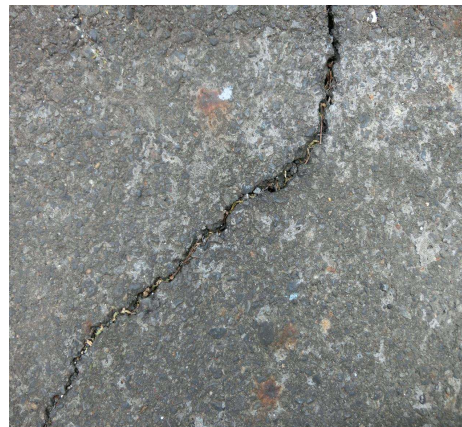
IV. もしも補修が必要となったとき

1) アスファルト材がひび割れている上に塗装する場合

- ・下塗を下記様に調合すると、ひび割れ部のパテとして使用できます。
混合にはハンドディスペンサーを用いて1~2分攪拌してください。

ひび割れ埋めパテ	
下塗A液	3.0kg
下塗B液	1.0kg
合計	4.0kg

※水希釈はしない



- ・直接ひび割れ部に流し込み、ヘラやコテなどで埋めて平らにするか、ケーキのホイップクリームに使用する袋に入れるなどすると、狙った場所に綺麗に流し込むことができます。



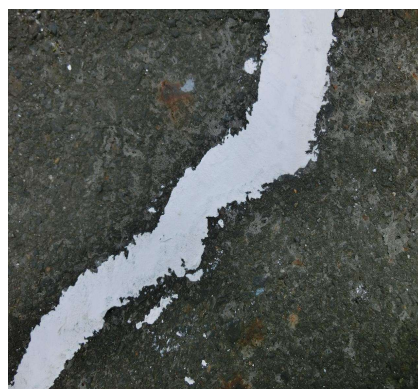
①ホイップ用の袋に入れる



② ひび割れ部に流し込む



③ ヘラやコテで平らに均す



④ 完成

- ・パテ埋めを行いましたら、24時間以上あけてから前述の下塗塗装を始めてください。

2) 塗装後に塗膜が剥がれるなどした場合

1. 道具の用意

《清掃用具》

- ・水道水
- ・金だわし
- ・ホウキや塵取り(または掃除機)
- ・ウエス

《塗装道具》

- ・中毛ローラー(下塗用・上塗用)
- ・ローラーの柄
- ・補助柄

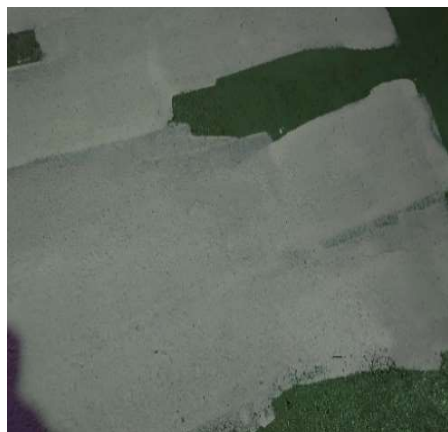


2. 補修箇所の洗浄

- ・良く金だわしを用いて水洗いをして脆弱な塗膜を取り去った後、ウエスなどで拭き、ホウキ・ちり取り・掃除機などでゴミを除去してください。

3. ローラー塗装

- ・前述した方法で塗料作製をし、剥がれた部分より少し大きめに下塗と上塗を施してください。



下塗り塗装



上塗り塗装

V. 注意事項

- ・仕様書に沿って、作業を行って下さい。
- ・雨天時・雨天が予想される状況時での塗布は避けて下さい。
乾く前に雨に曝されてしまうと、塗料が流れ出てしまい、周辺を汚染してしまう恐れがあります。
また、乾ききる前の雨水が来ると、塗膜になりきれず、剥離してしまうことがあります。
- ・気温5℃以下、湿度70%以上での塗装は避けてください。
乾きが遅くなるだけでなく、塗膜になりきれずにひび割れが生じてしまうことがあります。
- ・塗料の保管は、40℃以下、5℃以上で保管し、密栓をして冷暗所に保存して下さい。
あまり極端な環境に曝されると、塗料が変質してしまうことがあります。
また、蓋をせずに保存すると、塗料の表面に膜が張ってしまうことがあります。